



新緑が目まぶしい季節となりました。今年は比較的、晴天の日が多いように感じます。西日本では雨不足も心配されています。雨は命への恵みとしてとても大切、加えて、雨上がりの山々をみずみずしく彩り、街の木々も一層鮮やかに見せてくれます。雨が降ってくれるので、おひさまの輝きをありがたく感じることができます。

この一ヶ月、新型インフルエンザで世界中、ことに日本は大騒動ですが、梅雨の季節になればその勢いも沈静するそうです。お日さまも、雨も、そしてウィルスも、自然界の大きな営みであり、私たちはその中でいつも翻弄され、右往左往する小さな存在です。けれども、私たち一人一人の命もまた、自然界の営みの一つです。もう少し、その営みの中に身をゆだねるような生き方をすることができたなら、世界の様相も今とは少し違ったのではないのでしょうか。

さて、南市橋の杭瀬川では蛍が今、真っ盛り、6月3日くらいまで観られるそうです。金生山の姫蛍の観察会も企画されています。夜中の観察会ですが、是非お出かけください。

## 今月のトピックス

### 平成21年度 全員協議会

20年度の各部会、プロジェクトの活動報告、決算報告、そして21年度の活動計画についての説明などの議事が滞りなく終了し、会員の皆様のご承認を得ました。また、柳瀬崇・野村昭子両氏の大垣市功労者表彰受賞を、お祝いしました。



### 赤坂金生山 姫蛍観察会

6月6日(土) 午後10時 山門集合

晴天の場合は、二胡の演奏会もあります。

駐車場は、係員の指示に従ってください。



### 西之川のハリヨ池・加賀野神社でも蛍を観ることができます。

6月10日前後くらいまで、観察できそうです。月の出ていない夜、また雨が近くて、風のない、空気がどんよりした夜が、観察には最適だそうです。

## 今月の部会活動ダイジェスト

## 有機農業体験プロジェクト 開講式

5月9日(土) 本年度の受講者 19名



最近、家庭菜園がブームだそうです。本屋さんでも[野菜の育て方]など、特設コーナーをよく見かけます。おいしくて安心な食材を手に入れることに、皆さんの関心が高まっているのです。当会の有機農業体験プロジェクトに参加する市民も増えています。開講式でも小さなお子さんが二人、楽しそうに参加してくれました。皆さんの努力で、土の状況も年々良くなってきて、収穫量も増えてきているそうです。

## ダンボールコンポストプロジェクト

基材普及個数 約4,700個 (5月末)

「かがやきライフタウン～春のつどい」では、かがやく市民の代表として発表しました。

冬の間は、どうしても生ごみの分解速度が緩やかになるため小休止していた実践者も、暖かくなってきて、「やっぱり再開!」という人が多いようです。市外からの問い合わせや発送も順調に伸びています。市内では、地域力を活かしながらダンボールコンポストの普及を進めたいと考え、5月から自治会単位のモニター参加を募集しました。現在、6町内が参加され、120世帯の新規実践者が生まれています。この皆さんが長く継続してくださるよう願って、アフターフォロー講習会などもどんどん実施していきます。また、今月から「名古屋エコマネーセンター」との協体制により、エキスポエコマネーのポイント還元でダンボールコンポストが加わりました。エコマネーセンターを来訪する方の関心も高いそうです。じわじわと、でも確実に循環生活を目指そうとする人たちが増えています。「暮らしを変えて 未来に夢を」という理念を、わかりやすい行動として伝えることができるのが生ごみの堆肥化です。ダンボールコンポストに加えて、畑の設置型コンポスト、雑草や落ち葉を堆肥にする木枠のコンポストの普及活動も進めていきます。



## 事業者部会

総会と第1回部会を開催

平成21年5月19日(火) 参加者20名

総会 21年度の部会活動計画・テーマについて

部会 日本耐酸塩工業株式会社の見学と説明

終了後 懇親会

耐酸塩工業(株)の製造工程・検査工程の見学～リサイクルの優等生の筆頭である、塩ができる工程とその後の厳しい検査工程を見学しました。改めて、リサイクルの重要性について考える機会になりました。

大垣市環境市民会議 NEWS第24号

発行日 平成21年6月1日

編集者 環境市民会議事務局

発行者 大垣市環境市民会議 会長 成田幸範

所在地 エコステージおおがき 〒503-0911 大垣市室本町3丁目4番地

TEL (0584) 82-1761 FAX (0584) 47-5422

Mail: eco-sta@smile.ocn.ne.jp

<http://www15.ocn.ne.jp/~eco-sta/index.htm>